

教育研究評議会（第256回）議事要旨

I. 日 時 2025年（令和7年）6月24日（火）13:00～13:45

II. 場 所 オンライン形式（Zoom）

III. 出席者：春名学長、武田理事・副学長、木下理事・事務局長、江利川理事、中山副学長、
菊池副学長、青山副学長、藤縄大学院総合国際学研究科長・研究院長、
伊集院大学院国際日本学研究院長・国際日本学部長、三宅言語文化学部長、
千葉国際社会学部長、近藤アジア・アフリカ言語文化研究所長、
青山（弘）大学院総合国際学研究院副研究院長、菅長大学院国際日本学研究院副研究院長、
加藤国際社会学部副学部長、友常国際日本学部副学部長、
野田アジア・アフリカ言語文化研究所副所長
（合計 17 名）

陪席者：柄監事、井澤監事 他

IV. 資 料

0. 教育研究評議会（第255回）議事要旨（案）
1. 授業時間の見直しについて（案）
2. 東京外国語大学とリオ・デ・ジャネイロ州立大学とのダブル・ディグリー・プログラムの実施に関する規程（案）
3. 教育関係共同利用拠点（留学生支援施設）申請書
4. アジア・アフリカ言語文化研究所実施状況報告書（案）
5. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所特任助教募集要項（案）
6. 英語学習支援センター（ELC）特定教員公募要項（案） 外
7. 大学間等国際学術交流協定の新規締結・更新等について
8. 2024（令和6）年度卒業・修了者進路調査状況

○第255回の教育研究評議会の議事内容について、資料0により、確認した。

V. 議 題

<審議事項>

1. 大学機関別認証評価の受審への対応について

武田理事・副学長より、資料1に基づき、2026年度に大学機関別認証評価を受審するにあたり、前回の受審時に「改善を要する点」として指摘されている事項に対応するため、授業時間を変更する旨説明があり、審議の結果、次のとおり、これを承認した。

- ・2026年度から、授業時間は1回90分15回に見直す。
- ・来年度以降も、TUFS クォーター制は維持する。

また、具体的な学年暦については今後検討を行っていく旨の報告があった。

2. 東京外国語大学とリオ・デ・ジャネイロ州立大学とのダブル・ディグリー・プログラムの実施に関する規程の制定について

武田理事・副学長より、資料2に基づき、東京外国語大学とリオ・デ・ジャネイロ州立大学とのダブル・ディグリー・プログラムの実施に関する規程の制定について説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 教育関係共同利用拠点（留学生支援施設）継続認定の申請について

大津学長特別補佐より、資料3に基づき、教育関係共同利用拠点（留学生支援施設）継続認定の申請について説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. アジア・アフリカ言語文化研究所実施状況報告書について

近藤所長より、資料4に基づき、アジア・アフリカ言語文化研究所実施状況報告書について説

明があり、審議の結果、これを承認した。

5. アジア・アフリカ言語文化研究所特任助教募集について

近藤所長より、資料5に基づき、アジア・アフリカ言語文化研究所特任助教募集について説明があり、審議の結果、これを承認した。

6. 英語学習支援センター（ELC）特定教員の募集について

武田世界言語社会教育センター長より、資料6に基づき、英語学習支援センター（ELC）特定教員の募集について説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. 大学間等国際学術交流協定の新規締結・更新等について

【新規】パラツキー大学（チェコ共和国）／Erasmus+覚書（学生・教員受入）

【更新】エアフィット大学（コロンビア）／包括協定・学生交流覚書

国立ラプラタ大学（アルゼンチン）／包括協定・学生交流覚書

マドリード自治大学（スペイン）／包括協定・学生交流覚書（簡易版）

春名学長より、資料7に基づき、大学間等国際学術交流協定の新規締結・更新等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

<報告事項>

1. 2024（令和6）年度卒業・修了者進路調査状況について

菊池副学長より、資料8に基づき、2024（令和6）年度卒業・修了者進路調査状況について報告があった。